



## 地域協働12地区目の実施！！

### 山岸地区で地域協働の取組が始まります

山岸地区福祉推進会（豊村徹也会長）は、地域づくり組織の母体として、山岸地区の地域協働に取り組むことになりました。

地域づくり計画策定に向けた取組にあたり、9月5日（金）に山岸児童・老人福祉センターで各町内会の役員などによるワークショップを行いました。

当日は、約30名が参加。5つのグループに分かれて「山岸地区の抱える問題」「課題を解消するために取り組んでいること」「課題を解消するために、自分たちで取り組んだほうが良いと思うこと」の3つのテーマについて意見を出し合いました。

これから今年度中の計画策定に向けてワークショップや地域住民を対象にしたアンケートなどの取組を本格的にスター



【話し合いで意見を共有しています】

トさせる山岸地区。豊村会長は「安全・安心なまちづくりを進めるために、役立てていきたい」と、地域協働の取組を始めることについて、決意を新たにしました。



【よりよい地域にするために真剣に悩みます】



【まとめた意見を最後に発表しました】

## 【本宮地区】

### 本宮ゆいっこまつり開催

9月28日(日)、盛岡市中央公園で「本宮ゆいっこまつり」が開かれました。

本宮地域の住民相互の親睦をはかろうと本宮地域協働協議会が開催したもので、本年度で3回目。会場には本宮ゆかりのお店や周辺の博物館施設、フリーマーケットなども出展。ステージで披露された本宮小学校金管バンドの演奏や空手演舞、キッズダンス、大宮さんさ踊りなども多くの来場者を楽しませました。

## 【巻掘姫神地区】

### 地域づくり部会で事業協議

9月11日(木)、巻掘姫神地区福祉推進会(齋藤勲会長)は、巻掘地区コミュニティセンターで地域づくり部会を開き、下半期の事業について事業班別に協議しました。

「美しい自然を生かしたまちづくり班」では、旧姫神小学校を活用した「丸ごと姫神地区を楽しむ会」の企画について協議。世代間交流を図り、地元食材を使った料理を楽しむアイデアが出され、事業の具体化に向けた段取りを検討していました。

## 【城南地区】

### マップ作り進行中

9月24日(水)、城南地区地域づくり委員会(下田啓太郎会長)は、山王児童・老人福祉センターで、地域文化資源マップ作りの会議を行いました。

このマップは史跡の歴史や由緒を住民が知り、まちへの愛着を深めて欲しいと地域住民を対象に作成するもの。健康づくりにも役立てられるよう、ウォーキングのモデルコースも掲載します。年内の完成を目指し、作業は急ピッチで進められています。

## 【つなぎ地区】

### つなぎの特産品を作ろう

つなぎ地区振興福祉推進協議会(高橋金兵衛会長)は、つなぎ地区の特産品開発に着手しました。

9月6日(土)、つなぎ地区活動センターで行われたワークショップでは「パッケージとつなぎ地区のイメージは統一したい」「手づくり村の工房で、つなぎオリジナルのものを作れないか」などの意見が出されました。これらの意見は推進委員会でまとめられ、商品化に生かされます。

## 【東厨川地区】

### 自主防災訓練を開催

10月5日(日)、厨川地区活動センターで「東厨川地区自主防災訓練」が行われました。東厨川地区福祉推進会(佐藤栄一会長)が主催したもので、本年度で2回目。強い地震を想定した避難や救護の訓練のほか、今年は土のう作りや炊き出しなども新たに実施しました。

子供から高齢者までが参加した訓練は、防災への意識を高めるだけでなく顔の見える関係作りにも役立っています。

## 【玉山藪川地区】

### ワークショップで課題共有

地域づくり計画の策定を進める玉山藪川地区福祉推進会(廣内久行会長)は、9月9日(火)、玉山地区公民館で、第2回目のワークショップを行いました。

この日は地域のいいところ、好きなどを振り返ったうえで、課題を共有。将来を想定しながら、地域で何を行うべきか意見を申し合いました。10月中旬の最終ワークショップを経て検討を重ね、来年3月までに計画をまとめる予定です。

◆ 地域協働各地区の活動に注目 ◆